

してある新美術館について、設計案を公募してコンペ方式で選考する結果を発表した。8月上旬に実施要項を公表

中之島4丁目の大坂大医学部跡地1万3千平方メートル。佐伯祐三やモディリアニの作品をはじめ

建設予定地は、北区中之島4丁目の大坂大医学部跡地1万3千平方メートル。佐伯祐三やモディリアニの作品をはじめ

する。コンペでは、事業費の上限を設けるほか、方針。佐伯祐三やモディリアニの作品をはじめ

館者の使い勝手なども

てはいけない。(審査会で)有識者に機能性を判断してもらいたい

ががん化すること。遺伝性の乳がんは全体の5~10%で、70~80%は女性ホルモンによつて増殖する。昔は女性は20歳になるくらいで

がん化すること。遺伝性の乳がんは全体の5~10%で、70~80%は女性ホルモンによつて増殖する。昔は女性は20歳になるくらいで

がんになつたことがあ

る。だからこそ早期発見が大事。早期発見

した。市の規則は、条例と異なり、変更に市議会の議決を要しない。

さんとの特殊な問題で終了。ただし、治療内容も違つてしまつことが予防してほしい

専門医「大阪ブレストクリニック」芝院長に聞く

国内の乳がん発症率が年々上がっている。国立がん研究センターは2015年の罹患数を8万9千人、死亡者数を1万4千人と予測。20年前と比較し、罹患数は3倍に増え、12人に1人が乳がんを患う割合だ。歌舞伎俳優の市川海老蔵さん(38)が、妻でフリーアナウンサーの小林麻央(33)が乳がん闘病中であることを公表し、衝撃を与えた。

方で、診断後の5年生存率は約9割。早期発見が、その後の人生を左右する。乳がん急増の背景と検診の重要性について、乳がん専門の「大阪ブレストクリニック」(大阪市福島区)の芝英一院長(65)に聞いた。

「乳がんが急増している要因は、「生活スタイルの西洋化が一番の原因。乳

生活の西洋化で急増

がんは乳腺の上皮細胞ががん化すること。遺伝性の乳がんは全体の5~10%で、70~80%は女性ホルモンによつて増殖する。昔は女性は20歳になるくらいで

がんになつたことがあ

る。がんは一般的に高齢者の病気だが、乳が

がんになつたことがあ

る。だからこそ早期発見

乳がん検診 各自治体は、検診費用を一部補助している。

大阪市では、30歳代を対象に超音波検査は千円、マンモグラフィー検査は40歳以上を対象に1500円で実施。いずれも市指定医療機関で受診する。マンモグラフィーの補助は受診が2年に1回の場合のみ。

また、厚生労働省は、子宮頸がん、乳がん、大腸がんの検診無料クーポン券を自治体を通じて一定の対象年齢者に配布している。

費用補助や無料クーポン券の配布対象年齢は自治体ごとに異なり、各市町村のがん検診窓口で問い合わせできる。



「早期発見すると治る率が高くなり、治療内容も違つてくる」と、新美術館は市制施行ないよう市の規則を改められており、大阪府のラス使用は「市民の常識を逸脱している」と

さんは若年層もなるのが問題だ」

「検診は30歳代は超音波検査、40歳以上は放射線を使うマンモグラフィー(マンモ)を推奨している。

「乳腺の濃度は年齢によって違い、相対的に若い人は高濃度。マンモでは乳腺全体が白く写り、(がん細胞の)

かりにくい。そういう点では、30歳代に超音波検査は正しいと思

う。ただ、超音波は検査する人が見逃す可能

性がある。精密さは技

術で左右されることもある。検診は年齢だけでなく、乳房の性質で変わる。40歳以上でも高濃度乳腺の人は、超音波検査を加えたほうがいい」

「予防はできるの

「遺伝性の場合は、(米国人女優の)アン・ジェリー・ナ・ジョリー

さんのように乳房を取り除く。余裕があれば、1年に1度は受けたほうがよい。お乳と命を守るためにも検診を受けてほしい」